

2023年7月

投稿および編集規定

1. 発達臨床心理学の理論と実践の発展に貢献するとともに、本学相談員（センター員）の研究および実践能力の向上に資するために本紀要を刊行する。
2. 発達臨床心理学およびその周辺領域についての事例研究や実践研究，調査研究，理論的研究等を掲載する。
3. 事例研究については，以下の条件を満たすものとする。
 - ① 外部ケースは，学内カンファレンスに提出したもの，学内の教員が指導しているもの
 - ② 原則として終了ケースであること
 - ③ クライアントの了承を書面にて必ず得ていること
 - ④ 個人を特定されないように，記述に際しては，特段の注意を払うこと
4. 年に一巻を刊行する。
5. 主として，お茶の水女子大学心理臨床相談センターの研究成果の発表の場とする。また，活動報告をあわせて掲載する。
6. 第1著者は，相談員（センター員）であるか，編集委員の推薦を受けたものであることを要する。また同巻に第1著者として投稿できる論文は2本までとする。
7. 投稿された論文は編集委員会が審査を行う。趣旨に合わないものや水準に満たないものは不採択とする。また修正を求めることがある。
8. 原則として枚数は400字に直して50枚以内とする（図表を含む）とし，一定の書式（別途定める）に従うものとする。紙幅がそれを越える場合は編集委員に相談すること。電子ファイルおよび印刷出力を提出すること。
9. 投稿先は，心理臨床相談センター紀要編集委員会とする。
10. 掲載論文の著作権は，著作者に帰属する。ただし，著作者は，「お茶の水女子大学心理

臨床相談センター紀要」への投稿をもって、著作権のうち、複製権、公衆送信権の利用をお茶の水女子大学人間文化創成科学研究科附属心理臨床相談センターに許諾する。なお、事例論文の本文についてはこの限りではない。※

※複製権と公衆送信権を行使する際の主なる内容は、掲載論文のお茶の水女子大学教育・研究成果コレクション **TeaPot** での公開を示すものである。